



冬の御苑

冬

より良い京都御苑 を目指して

後藤 乙夫



発行人
〒602-0881 京都市上京区
京都御苑3番地
☎075-211-6364
一般財団法人 国民公園協会
京都御苑 加藤博之
編集
白川書院
監修
環境省京都御苑管理事務所
本紙は再生紙を使用しています。

京都御苑は明治初期（二八七七〜一八八三）の大内保存事業によって形づくられ、今年で開苑百三十年目を迎えました。我が国の公園制度の契機のひとつに明治六年の太政官布達があります。明治十六年に開苑した京都御苑は国内の先駆的な公園のひとつと言えます。

大内保存事業は東京奠都後の公家町跡の荒廃ぶりを嘆かれた明治天皇の「旧観を守るように」とのご沙汰によるもので、京都府によって、外周土塁、苑路等の整備や植樹が行われました。その後は時代のニーズに応えた児童公園や運動場の他、様々な利便施設が整備されていきます。昭和二十四年からは厚生省（現環境省）による管理が始まり、昭和三十年には（一財）国民公園協会京都御苑の前身である財京都御苑保存協会が設立されました。以降、環境省と国民公園協会が連携して御苑の管理にあたってきました。



冬景色の母と子の森

多様な動植物相が育まれ、豊かな生態系が見られるようになり、管理の現状を挙げれば、今年度内に旧閑院宮邸の西側庭園の復元工事を終え、来春には公開する予定です。また、旧桂宮邸では庭園調査を進めており、いずれ復元を計画することになります。

本年十月末には九條池など水域の生物調査を行い、ミシシッピアカミミガメなどの外来生物の生息を確認しました。これらは人為的に持ち込まれたものですが、本来の生態系に悪影響を及ぼす外来生物の持ち込みは認められるものではありません。御苑の年間利用者数は四百万人を超え、その割合は市民六割、観光客四割です。利用者意識調査によれば、樹林は保存すべきだ、現状を維持してほしいなど、大半の利用者が現状を評価しています。一方で、ルール・マナーの点で批判的な意見もあります。最も多い意見は犬の散歩に関するもので、リードを外した行為、排泄物の放置などを問題としています。この他に二輪車の駐輪、動物への餌やり、ゴミの投げ捨てなどがあります。



サザンカとメジロ

御苑は京都市の重要な観光資源のひとつであり、市民の憩いの場です。また、災害時の広域避難場所でもあります。御所とともにある京都御苑は唯一無二の存在で、地域の宝であり、国が責任を持って管理する公園です。それが京都市内に

あることは市民にとっ て誇りとすべきことです。御苑の歴史を維持し、自然を守りながら、利用者が安心して快適に利用できる公園を目指していかねばなりません。そのためにも、環境省や国民公園協会といった管理者側だけではなく、地域や利用者にも御苑の意義や価値をご理解いただき、ともにその役割を果たしていくことが必要と考えています。

白雲神社の四季

小栗栖 元徳



雪の白雲神社本殿前拝

白雲神社は蛤御門の南東方向に当たり、葵祭や時代祭の起点である建礼門より南約二百メートルの少し西寄り（鎮座します。琵琶の宗家であった公家の西園寺家の旧地にあたる境内は豊かな樹林に囲まれ、早春には向かい側の梅林から馥郁とした梅の薫りが届き、秋には背後の紅葉が朝日に染まり、手水所に湧き出る神水で身を清めると心まで洗われるようです。

江戸中期の明和六年（一七六九）に赤八幡から現在地に移築され、その後も造営された西向きの本殿は神鏡と幣殿と拝殿が繋がり、神社には珍しいお堂のような建物で、ここではどなたでも心静かに神様と向かい合えます。

御祭神の妙音弁財天の縁日である巳の日は午前七時より江戸時代から続く朝参式が行われ、新年の最初の巳の日の朝参式を初巳祭とし、一拝を通し参拝者一同で大祓詞を唱え、わが国の平安と崇敬者の家内安全、家門繁栄を祈念します。

また恒例の年間行事としては六月十五日午後二時より例祭が行われます。芸能守護の御神徳を仰ぎ、毎年茂山千五郎社中による大奉拝
奉拝
平成二十六年一月一日
白雲神社の御朱印

蔵流狂言の奉納や白拍子舞などの奉納があり、一年で最も華やか大祭です。

秋九月の巳成金の吉日には御祭神の芸道守護とあわせて財宝財力を司る御神徳を仰ぎ妙音弁財天のお姿を写した小判御守が特別に頒布され、この日のお参りは最も御利益があると言われてます。

白雲神社は蛤御門の南東方向に当たり、葵祭や時代祭の起点である建礼門より南約二百メートルの少し西寄りに鎮座します。琵琶の宗家であった公家の西園寺家の旧地にあたる境内は豊かな樹林に囲まれ、早春には向かい側の梅林から馥郁とした梅の薫りが届き、秋には背後の紅葉が朝日に染まり、手水所に湧き出る神水で身を清めると心まで洗われるようです。

催 事 案 内

■平成26年京都御苑自然教室

初心者の方を対象とした自然教室の今後の予定は、下記の通りです。都市の中で貴重な緑をもつ御苑で、冬の自然を観察しましょう。

冬の自然教室「冬の御苑にふれよう」

平成26年1月26日(日) 9:30~12:00

主 催 環境省京都御苑管理事務所 TEL075(211)6348
一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
TEL075(211)6364

講 師 京都自然観察学習会の先生方に解説して頂きます。
内 容 冬の御苑にはどんな草花やキノコがあり、どんな虫や鳥たちが生活しているか観察します。

集 合 場 所 京都御苑

富小路休憩所前
(上京区京都御苑 富小路口)

受付時間 当日 9:00~9:20

参加費 保険料100円

その他 筆記用具をご持参下さい。

手持ちのルーペ、双眼鏡、
図鑑などの観察用具があると便利です。

*以降も春、夏、秋と四季折々、
自然教室を予定しています



「閑院宮邸跡」見学

京都御苑南西角の創建以来の場所に建つ、「閑院宮邸跡」
収納展示室では、京都御苑の歴史や自然の資料が展示されて
います。苑内散策の折に是非お立ち寄りください。

収納展示室 午前9時~午後4時(午後4時30分閉館)、入場無料
休館日/月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館)、年末年始

御 苑 の 花 暦

| 和 名 | 開 花 期 | 主に見られる場所 |
|-------|-----------|---------------------|
| サザンカ | 11月~2月 | 乾御門から今出川御門に抜ける散策道周辺 |
| ウメ | 2月中旬~3月中旬 | 梅林 |
| ヤブツバキ | 2月~4月 | 近衛池周辺、母と子の森、白雲神社周辺 |

新年度会員募集

(平成26年1月~12月)

京都御苑ニュースは、会員の皆様のご支援に支えられ発行しています。皆様のご入会を心よりお待ちしております。

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
年会費 ●普通会員 1,000円以上
●賛助会員(会社・団体) 10,000円以上

■本会員への特典

1. 本会発行物をそのつど送付します。
(御苑ニュースは会費収入で発行されています。)
2. 葵祭、時代祭の招待券を進呈します。
(ただし、普通会員は会費4,000円以上の方に限ります。)

■会費のお支払方法

年会費は、郵便局または国民公園協会京都御苑の窓口でもお支払頂けます。

■申し込み、問い合わせ先

一般財団法人 国民公園協会 京都御苑
住所 京都市上京区京都御苑3
〒602-0881 TEL.075(211)6364



樹々の種をついばむイカル



地面で落ちた種を探すアトリ

冬は夏と違い、鳥たちの食べ物である昆虫類や花芽、新葉、種子を得る事が難しい季節です。そのため鳥たちは、一日の大半を食物探しに費やします。そこで彼らの食料となる樹々の枝先に残る実や地面に落ちた種の場所を知る事で、観察が容易になり、さらに葉を落した樹林では姿も見つけやすくなります。

京都御苑の外周部には、背の高いケヤキ、ムク、エノキなどの落葉樹を主とする林が、その内側に常緑広葉樹の暗い林、落葉広葉樹の明るい林、針葉樹の林地、松と芝生の明るい草地、せせらぎ

の場所がある様に、生いかりを始め、アトリやシロハラなど数多くの鳥たちが遠くから彼らの活動を推理する事ができます。一年の中でも、特に冬はフィールドサインを探しやすい季節です。

お気に入りの場所はどこに、皆さんにお気に入りの場所がある様に、生いかりを探し歩く事も、ベンチに腰掛け鳥たちを待つ時間を

楽しんでみてはいかがでしょうか。樹々の枝先から枝先へと小鳥の群れが、会話を楽しむような鳴き声と共にやって来るでしょう。

生きもの時間を共有する日、夕陽がきれいだなと思いつく、近くの梢を見上げると一羽の羽がキラキラと光る。おそろく他府県の方から京都御苑内にテニスコートがあることをご存じでしょうか?

皆様は、京都御苑の南東角にテニスコートがあることをご存じでしょうか? おそろく他府県の方から京都御苑内にテニスコートがあることをご存じでしょうか?

冬こそチャンス
冬の季節は夏の生きものの姿が消え、少しさみしい雑木林ですが、音だけではどこにどれだけの鳥がいるのか判りませんが、こちらの姿に気がつき飛び立つ時、その数に驚か

これはイカルの群れが森の地面で樹々の種をついばみ割る音です。音だけではどこにどれだけの鳥がいるのか判りませんが、こちらの姿に気がつき飛び立つ時、その数に驚か

冬は夏と違い、鳥たちの食べ物である昆虫類や花芽、新葉、種子を得る事が難しい季節です。そのため鳥たちは、一日の大半を食物探しに費やします。そこで彼らの食料となる樹々の枝先に残る実や地面に落ちた種の場所を知る事で、観察が容易になり、さらに葉を落した樹林では姿も見つけやすくなります。

京都御苑の外周部には、背の高いケヤキ、ムク、エノキなどの落葉樹を主とする林が、その内側に常緑広葉樹の暗い林、落葉広葉樹の明るい林、針葉樹の林地、松と芝生の明るい草地、せせらぎ

と池など、多様な樹林環境がモザイク状にあり、多くの生きものにとって貴重な生活環境になっています。

山々や北国の生まれ故郷から、冬を越すために京都御苑にやってきます。もし鳥たちを見ることが出来たら、彼らに会える喜びを分かち合いたく思います。

生きものは、種類や季節によってその場所が異なります。御苑には多様な樹林環境がありますが、なかでも母子の森は、常緑樹と落葉樹が混ざり、近くに水場もある自然観察にもってこいの場所です。

鳥たちを探し歩く事も、ベンチに腰掛け鳥たちを待つ時間を

楽しんでみてはいかがでしょうか。樹々の枝先から枝先へと小鳥の群れが、会話を楽しむような鳴き声と共にやって来るでしょう。

生きもの時間を共有する日、夕陽がきれいだなと思いつく、近くの梢を見上げると一羽の羽がキラキラと光る。おそろく他府県の方から京都御苑内にテニスコートがあることをご存じでしょうか?

皆様は、京都御苑の南東角にテニスコートがあることをご存じでしょうか? おそろく他府県の方から京都御苑内にテニスコートがあることをご存じでしょうか?

冬の御苑のおすすめ観察ポイント

河合 嗣生



針葉樹の樹林



外周部の雑木林

歴史と自然を感じられるテニスコート

飯田 尚樹



テニスコート

テニスコートのお問合せは、左記までお願い致します。
(一財)国民公園協会 京都御苑
(電話) (075) 211-6364
(受付) 8:30~16:30
月曜日定休、
年末年始休業
(十二月二十九日、
一月三日まで休業)
(お願い) コートの使用後は、ネットを下げてブラシをかけて下さい。

環境技官